

アクセス方法  
 <電車>  
 ①JR「金沢駅」より車で約1時間40分  
 ②JR「金沢駅」より特急バスで約2時間10分  
 <飛行機>  
 能登空港より車（バス）で約40分

memo



小さな旅 ホームページ  
<http://nhk.jp/kotabi>

# 小さな旅

～こころのふるさとをみつめて～

コブック vol. 166

とと楽の港町  
 ～石川県 輪島市～

2014年11月23日(日) 放送

能登半島北部にある石川県輪島市。  
 この地域には、母がよく働き、とと(父)が楽をする  
 という意味の「能登のとと楽」という言葉があります。  
 輪島名物の朝市で、取れたての魚や干物を威勢よく  
 売るのは、漁師のおかみさんたち。自分の家の船で  
 取れた魚をリヤカーで売り歩く「振り売り」の担い手も  
 女性たちです。11月上旬、ズワイガニ漁が解禁となり、  
 港は一層忙しくなります。活気あふれる漁師町で、  
 元気な女性たちに出会う旅です。



町ではリヤカーで魚を売る女性を至るところで目に  
 します。「振り売り」(ぶりり)と呼ばれる行商です。  
 朝市で魚を売るのは、多くが漁師のおかみさんたち。  
 月2回の休みをのぞいて、朝8時から正午まで店を  
 出します。家に帰っても大性し、炊事や洗濯、夫が漁から  
 戻ると港に出て水揚げの手伝い、空いた時間には干物作り。  
 11月上旬にはカニ漁が解禁され、さらに忙しくなります。

## 町の暮らしを支える振り売り

旅の見どころ 3



輪島には、お母さんが働き、お父さんが楽をする、「とと楽」  
 という言葉があります。働き者の女性たちの町です。  
 朝市で魚を売るのは、多くが漁師のおかみさんたち。  
 月2回の休みをのぞいて、朝8時から正午まで店を  
 出します。家に帰っても大性し、炊事や洗濯、夫が漁から  
 戻ると港に出て水揚げの手伝い、空いた時間には干物作り。  
 11月上旬にはカニ漁が解禁され、さらに忙しくなります。

## 家族を支える漁師の母

旅の見どころ 2

旅の見どころ 1

## 名物 輪島の朝市

輪島市の名物は、朝市。1,000年以上の歴史が  
 あるといわれ、今では年間60万人あまりの人が  
 訪れます。通りには、水揚げされたばかりの魚や  
 干物から、野菜や民芸品まで、およそ200の店が  
 立ち並びます。売っているのは、ほとんどが女性。  
 朝早くから威勢のいい呼び込みの音が響きます。店に  
 並ぶ魚には値札がついていません。元気なお母さんとの  
 やりとりを楽しむのも魅力の1つです。

